

山形県地域再犯防止推進モデル事業概要

1 満期出所者等社会復帰支援事業（R1. 10. 1～R2. 9. 30）及び再犯防止推進セミナー

再委託先：（福）山形県社会福祉事業団（山形県地域生活定着支援センター）

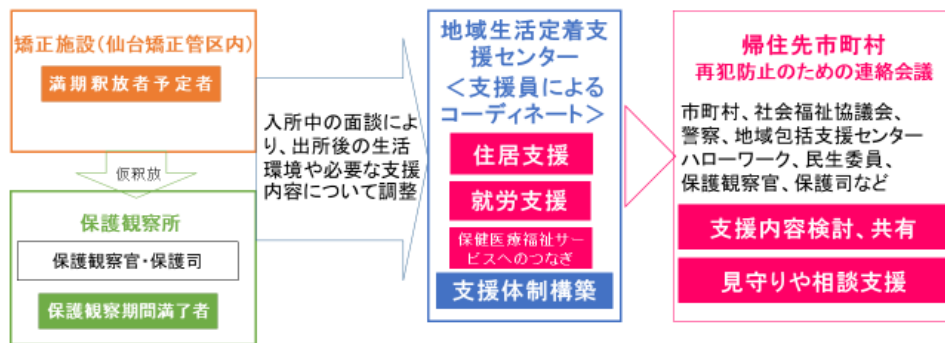
（1）満期出所者等社会復帰支援

内容：援助員を1名配置し、関係機関等と連携を図り、特別調整とならない満期出所者等に刑務所入所中から就労、住居確保、福祉サービス等のコーディネート及びフォローアップ支援

8名に対しコーディネート、県内帰住7名の支援体制構築

帰住先5市に「再犯防止のための連絡会議」（多機関連携による包括的な支援体制）設置

■事業スキーム



■得られた成果等：満期出所予定者について、入所中から面談を行うことにより、身元引受人や保護司と連携し、必要な住居確保や見守り、医療、生活保護等各種制度等に結び付いた。

県内の帰住市（5市）において、行政、警察、福祉関係者による「再犯防止のための連絡会議」の設置により、地域における見守りや相談支援などきめ細やかな対応を通して、孤立防止、適切な支援につなげる体制ができた。

（2）再犯防止推進セミナー（令和元年12月2日開催）

内容：性犯罪者の再犯防止や入口支援等について理解を深めるセミナー開催

講師：千葉大学特任講師東本愛香氏、山形地方検察庁船山副検事

参加者：保護司、社会福祉施設従事者、医療機関、行政機関等101名参加

■得られた成果等：再犯防止推進セミナーをきっかけとして再犯防止の具体的な支援方法や取組みに関心が高まった。

2 薬物依存者社会復帰支援事業（R1. 10. 1～R2. 9. 30）

再委託先：（特非）鶴岡ダルク

内容：専門家によるTCプログラム（認知行動療法）3回及び家族会プログラム4回実施

対象者：鶴岡ダルク入所者20名

■得られた成果等：新型コロナウイルス感染拡大の影響で一部中止したこともあり、就労、自立につながったのは、1名。

3 再犯防止普及啓発（R2. 6～9）

再委託先：山形県更生保護事業者協会

内容：7月の社会を明るくする運動期間中の啓発にあわせ、支援者（協力事業主等）の拡大を図るためパンフレットの作成配布

■得られた成果等：国の法務関係機関（山形地方検察庁、山形刑務所、山形保護観察所）と県地域生活定着支援センター、県内の更生保護団体等との連携による、福祉事業所等地域の支援者拡大に向けた取組において、パンフレットが有効に活用され、協力雇用主の増加につながった。